

小金井市立図書館基本計画 図書館評価

(評価対象：令和5年度事業)

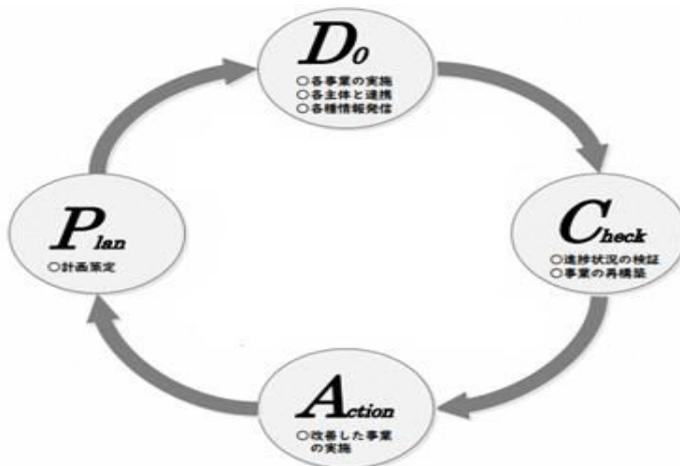
令和6年12月27日

小金井市立図書館

評価の目的

小金井市立図書館では、「小金井市図書館基本計画」に従い施策・事業展開を推進しています。図書館評価（図書館法（昭和25年法律第118号）第7条の3）は、その取組目標【Plan】にもとづく事業の結果【Do】を分析・評価【Check】し、次年度以降の実施・改善【Action】につなげるものです。評価結果は公表し、市民に開かれた図書館運営を図ることで、計画に掲げる図書館像「人と地域のための いちばんみぢかな『知の拠点』」の実現を目指します。

※ 図書館が関係する評価には、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）」第26条の評価と「小金井市生涯学習推進計画」の評価があります。これらは、「第4次小金井市生涯学習推進計画」で定める施策について、図書館だけでなく、それに関係する複数の担当部署の進捗状況を包括的に評価しています。



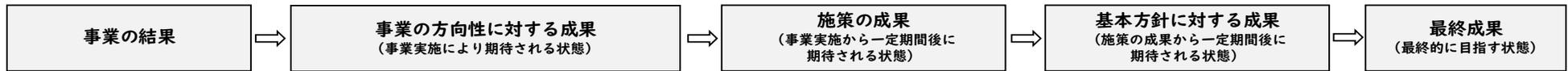
評価方法

第一次評価を図書館、第二次評価を小金井市図書館協議会が行います。

「小金井市立図書館基本計画の評価の体系図」（2ページ）に基づき、4つの基本方針ごとに事業の実施状況を把握するとともに、定性的な評価も加え、目指す状態（成果）にどれだけ近づいたかを総合的に評価します。

また、次期計画策定時には、5年間の施策・事業展開を踏まえて基礎調査を実施し、本市の図書館利用率、満足度、事業・サービスの認知度を把握することで、図書館の運営・サービスがどの程度向上したのか、最終的な成果を評価します。

小金井市立図書館基本計画の評価の体系図



令和4年度～7年度の評価対象

令和8年度の評価対象

基本方針 1 誰もが利用しやすい図書館

内容

図書館は、誰もが安心して施設を利用できるよう、図書館サービスを身近に感じられるよう、環境の整備を行います。また、図書館サービスが広く市民に認知されるよう、広報を行います。

取組目標【Plan】

施策1-1 誰もが利用しやすい施設とサービスの環境づくり

令和5年度 取組目標【Plan】	
1-1-1 安全・安心に利用できる施設環境を整えます	<ul style="list-style-type: none"> ●誰もが安全、安心に利用できる施設環境を保つよう、LED照明への順次更新を行います。 ☆本館1階書架のレイアウトを変更し、館内の見通しを改善します。 ○本館1階書架見出しサインの書体をユニバーサルデザインフォントに変更します。 ★本館の開館時間拡大に向けた準備を行います。 ★緑分室の委託化に向けた準備を行います。
1-1-2 誰もが利用しやすい施設環境を整えます	
1-1-3 地理的・時間的制約により図書館施設の利用が難しい市民に対して、サービスの提供方法を検討します	

施策1-2 市民に届く広報活動

令和5年度 取組目標【Plan】	
1-2-1 様々な媒体を活用し、市民に届く積極的な情報発信を行います	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館ホームページ、X（旧Twitter）、図書館だより等を活用し、多角的な情報発信を行います。 ★読み聞かせ絵本リストの作成を行います。

施策1-3 ICTを活用した図書館サービスの充実

令和5年度 取組目標【Plan】	
1-3-1 図書館サービスの向上につながるICT活用と今後の在り方の検討を図ります	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館サービスのICT活用等を検討・研究します。 ●オンライン環境によるイベントを行います。 ☆Wi-Fi環境の整備を行います。

凡例 ☆ = 新規重点取組事業 ★ = 継続重点取組事業 ○ = 新規事業 ● = 継続事業

主な事業の結果【Do】	
施策1-1 期待される成果：図書館が利用しやすくなったと感じる市民が増える	
1-1-1 安全・安心に利用できる 施設環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ●ブックポスト1台の入替 ●館内防災訓練（本、東、緑、北） ●図書除菌機を継続設置（本、東、緑、北） ●館内照明の一部をLED照明へ更新（本、緑） ☆本館1階書架レイアウトの変更
1-1-2 誰もが利用しやすい施設 環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ●閲覧室書架の修繕（本、緑） ●コミュニケーションボード、筆談ボード等の設置（本、東、緑、北、西） ●図書館の利用案内の外国語版（英語、中国語）をユニバーサルフォントで作成 ○本館1階書架見出しサインをユニバーサルデザインフォントへ変更
1-1-3 地理的・時間的制約を 超えたサービスの提供検討	<ul style="list-style-type: none"> ★本館開館時間拡大に向けて職員・勤務体制と拡大すべき時間を検討 ★緑分室の委託に向けた環境整備と、関係団体との引継ぎを実施
施策1-2 期待される成果：市民の図書館情報への接触頻度が増える	
1-2-1 様々な媒体による積極的 な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ★未就学児向け読み聞かせ絵本リスト（1,000部）を作成して健康課へ配布 ★小学校中学年向けリストを作成し各館で配布（名称「おすすめ本リスト」） ●各館のイベント周知及びテーマ展示について、図書館HPとX（旧Twitter）で広報 ●「図書館だより」発行（本・緑6回） ●YA世代向け広報誌発行（北4回） ●「ひがしちよう空間」発行（東4回） ●「きたまち空間」発行（北4回）
施策1-3 期待される成果：サービスの利便性が高まる、サービスが効率化する	
1-3-1 ICT活用と今後の在り方 の検討	<ul style="list-style-type: none"> ☆Wi-Fi環境の整備（北） ●オンラインおはなし会（緑）の実施（11回、113人参加） ○学級文庫の貸出し申込をLogoフォーム環境で整備（本） <ul style="list-style-type: none"> ●オンラインイベント（北）の実施（「紹介型読書会・出会型読書会」8回42人）

凡例1 ☆ = 新規重点取組事業 ★ = 継続重点取組事業 ○ = 新規事業 ● = 継続事業

凡例2 「本」=本館 「東」=東分室 「緑」=緑分室 「北」=貫井北分室 「西」=西之台会館図書館

基本方針1に対する成果の分析・一次評価【Check】

A

- A：基本方針に対しての成果があった。
- B：基本方針に対しての成果は一部分であった。
- C：基本方針に対しての成果を出すためには、課題がある。

- ・従来、本館 1 階書架は貸出カウンターの職員から奥行きが見通せない配置であり死角が多かったが、本館 1 階書架のレイアウトを変更したことで奥まで見通せるようになり、安全・安心に利用できる環境が整備できた。
- ・本館 1 階書架見出しサインをユニバーサルデザインフォントへ変更し、サインの統一をはかったことで、館内表示が見やすくなり、館内利用への配慮が進んだ。
- ・本館開館時間拡大に向け、20 時までの時間帯別来館者数と貸出状況の調査、拡大後を想定した職員の勤務体制の試行等、検討を進めた。
- ・緑分室の委託に向けて、市民説明会、関係団体との協議、施設環境の修繕等を行い、円滑な移行に努めた。
- ・市立小中学校へ図書館が行うイベントのチラシやYA向け広報誌を配布しているが、ビブリオバトル（知的書評合戦）の案内は、市内都立高校等へも配布して図書館の利用を促した。
- ・「おすすめ本」リストは子供の成長段階に合わせた本選びの参考となるよう、年齢層を分けて作成した。
- ・貫井北分室にWi-Fi環境を整備した。その結果、貫井北分室におけるインターネット利用件数は45件（前年度比93件減）と落ち込んだ。なお、国立国会図書館デジタルコレクションの個人利用が拡充されたことも要因と考えられる。

次年度以降の実施・改善事項【Action】

- ・多くの市民要望がある「静かに読書ができるスペース」「読書や調べ物ができるスペース」に応えるため、本館 1 階に閲覧機を備えた閲覧スペースを設けたい。
- ・書架の見出しサインのユニバーサルデザインフォントへの変更は、全館で順次取り入れて行きたい。
- ・本館開館時間は開館日全日で、19 時までとしたい。ただし、児童室のある 2 階は児童の安全等を考慮して 17 時までとし、その周知を行いたい。
- ・緑分室の開館時間を 19 時までとし、休館日を第 1・3 火曜日に変更することで、開館日・開館時間の拡大を図りたい。
- ・次回の「おすすめ本」リストの作成は、小学校高学年を対象に作成を進めたい。
- ・Wi-Fi環境の整備は本館及び各分室の閲覧利用状況を見ながら、検討を進めたい。
- ・オンラインイベントは、イベント講師が遠方の方等の場合や遠方からも参加が見込まれる場合には、実施を検討したい。

図書館協議会による意見【基本方針 1 について】

基本方針 1 について

・「誰もが利用しやすい図書館」という点では、本館のレイアウト変更やサインのユニバーサルデザイン化など多様な利用者に配慮した改善が見られた。しかしブラウジングしていて、書架の切れ目が狭く判別しにくいなど、レイアウト変更には更なる改善が必要と思われる。

また、本館に関しては、あらゆる利用者の資料利用・運搬の面ではエレベーター設置は必須であるが、エレベーターの位置が難点である。2階利用者は、車椅子など障害のある方は利用できても、健康に不安を感じている高齢者や、ベビーカーの親子連れ、たくさん資料を利用して上下階移動の運搬に辛さを感じる一般利用者などは、職員利用もあるエレベーターは職員優先に感じ、利用し難い。カウンター位置の変更などは考えられないだろうか。もっと開かれた感覚が必要ではないか。

本館の開館時間の全日19時閉館はぜひ実現していただきたい。2階利用時間は利用者の年齢制限を設けて、1階同様の19時閉館が多様な利用者のニーズに応えられると思われる。

貫井北分室は「きたまち空間」の発行をいつも楽しみにしており、大変有効で有用な内容を市民に公開していると思う。また多種多様な展示やイベントで情報発信に力を入れていることがよく伝わる。

【岡田委員】

・「1 - 2 - 1 の次年度以降の実施・改善事項について」活用する媒体として「小金井市公式LINE」の追加を検討してはどうか。また、YA世代はXやHPよりもInstagram等で情報収集をおこなっていると聞く。YA世代へのアプローチとして、新しい広報媒体の検討も盛り込んではどうか。

【小林委員】

・本館 1 F 書架のレイアウト変更は、利便性・安全性向上だけでなく、館内の物理的な狭さを感じにくくするなど、視覚的効果もあって良い見直しであった。

図書館開館時間の平日夕方以降の拡大は、図書館利用者（特に現役就労世代の市民）の増加に結びつくと考えられ評価できる。

貫井北分室のWiFi環境整備は良い取り組みであり、是非全図書館施設への整備拡大を図って欲しい。

図書館活動の広報にあたっては、利用者層の多様化に沿って媒体を拡大することが重要で、ホームページの拡充やX活用は評価できるが、例えば市のLINEアカウントへの掲載などさらに拡大が求められる。

【白井委員】

・書架のレイアウトやユニバーサルデザインフォントへの変更、コミュニケーションボードなどの設置など、市民への配慮がされていてよいと思われる。しかし、本館ではスペースにも限りがあり、やはり、昭島の図書館のような多くの人に利用される魅力ある図書館にするためにもっと広い敷地での図書館建設ができればよいのにとと思われる。

【関本委員】

基本方針 2 読書の楽しみと喜びを広げる図書館

内容

読書を介して、人は、別の世界を覗いたり、疑似体験や新たな発見をしたり、生活に役立つ知識を得たり、誰かと読後感を共有したり、趣味や興味が広がったりと、その楽しみ方や醍醐味は無限大です。図書館では、あらゆる人が本に触れる喜びと読書の楽しみを体験できるように努めます。

取組目標【Plan】

施策2-1 子どもに読書の楽しみを届ける活動の充実

令和5年度 取組目標【Plan】	
2-1-1 図書館に親しんでもらい、読書を楽しんでもらうための事業・イベントを開催します	<ul style="list-style-type: none"> ★図書を身近に感じてもらえるよう、乳幼児から参加できるおはなし会やイベント、児童・生徒を対象としたテーマ展示を行います。 ○乳幼児と保護者向けのおはなし会「ととけっこうのおへや」の開催方法を見直します。
2-1-2 学校等への図書の団体貸出等を通して、幅広い資料に触れてもらい読書の幅が広がるように支援します	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館の利用啓発のため、市立小学校の1年生を対象とした訪問活動を行います。 ●子どもと関わりのある団体へ団体貸出しを行います。 ★市内小学校の学級文庫向けの団体貸出パック（1年～5年生）の追加を行います。
2-1-3 ヤングアダルト（YA）世代（注）向けのコーナーやイベント等の充実を図ります	<ul style="list-style-type: none"> ●図書を身近に感じてもらえるよう、主にYA世代を対象としたテーマ展示を行います。 ●YAサポーターと協力・連携をしてイベント等を行います。 ☆電子図書室の学校連携について研究を行います。

施策2-2 人生100年時代の多種多様な学びの支援

令和5年度 取組目標【Plan】	
2-2-1 多様な年代が、知的好奇心を満たし、新たな発見を得られるよう働きかけます	<ul style="list-style-type: none"> ★図書を身近に感じてもらえるよう、幅広い世代を対象としたテーマ展示、一般向けの講座やイベント等を行います。 ☆図書館本館60周年行事に向けた検討を行います。

施策2-3 特別な配慮が必要な人への支援の充実

令和5年度 取組目標【Plan】	
2-3-1 ハンディキャップ・サービスの拡充を図ります	<ul style="list-style-type: none"> ●点訳・音訳資料を図書館サポーター（ボランティア）の協力を得ながら、資料の作成を行います。 ●対面朗読、宅配サービスを行います。 ★ハンディキャップ・サービスの周知のため、広報活動の拡充を検討します。

凡例 ☆＝新規重点取組事業 ★＝継続重点取組事業 ○＝新規事業 ●＝継続事業
 （注）ヤングアダルト（YA）世代＝主に中学生・高校生を中心とした世代を指します。

主な事業の結果【Do】	
施策2-1 期待される成果：読書を楽しみ、図書館を利用する子どもが増える	
2-1-1 子どもが図書館に親しみ、読書を楽しむ事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ★乳幼児おはなし会「ととけっこうのおへや」の実施（本6回85人、東5回48人） ○乳幼児おはなし会「ととけっこうのおへやmini」の試行(本4回33人) ★おはなし会（本45回439人、東6回30人、緑22回261人（オンライン含む）、北35回287人） ★乳幼児（0歳～5歳）向けイベントの実施（本3回26人、東1回16人、緑・北なし） ★子ども向けのイベントの実施（小学生以上及び家族向けイベントも含む） （本4回101人、東1回12人、緑4回44人、北7回215人） 子ども向けイベントのうち、1日図書館員イベント（小学生）（緑1回10人） 子ども向けイベントのうち、夏休みテーマ別に本を探して楽しむイベント（小学生） （北118人） ●学校訪問(市立小学校の一年生対象)（9校、1,055人） ★児童向けテーマ展示の実施（本23回、東19回、緑25回、北27回、西11回）
2-1-2 子どもの読書の幅が広がるような支援	<ul style="list-style-type: none"> ☆学級文庫向けの団体貸出パック（1年～5年年生）各学年3パック （1パック35冊程度）を追加 ●団体貸出（208団体、22,901冊）うち、調べ学習支援16件 ●外国語の絵本及び児童書の購入（全館96冊） ●ハンディキャップのある子ども向けの図書の購入（全館3冊） ☆電子図書館の学校連携について関係各課と調整
2-1-3 YA世代向けのコーナーやイベント等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●YA（中高生）向けイベントの実施（北2回13人） YA向けイベントのうち、1日図書館員イベント（中学生）（北1回7人） ●YAサポーターとの交流・活動の実施（北6回22人） ●YA向けテーマ展示の実施（本6回、東3回、緑3回、北11回、西なし） ●YA世代向け広報誌の発行（北4回） ●職場体験等受入れ（中高生）（本、東、緑）
施策2-2 期待される成果：読書を楽しむ市民が増える	
2-2-1 知的好奇心の充足・新たな発見の機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ★一般向けテーマ展示の実施（本30回、東12回、緑10回、北24回、西12回） ●著名な作家に対する追悼テーマ展示（一般、児童、YA向けを含む）の実施 （本8回、緑1回、北14回） ★一般向けイベントの実施(大学生以上及び全年齢対象も含む)（本6回100人、東6回38人、緑2回52人、北35回333人）うち、オンラインイベントは北で実施 （「紹介型読書会・出会型読書会」8回42人） 全年齢対象イベントのうち、16ミリ映画会（本3回66人、緑2回52人） ●リサイクル図書配布コーナーの設置（本、東、緑、北）
施策2-3 期待される成果：読書を楽しむ市民が増える	
2-3-1 ハンディキャップ・サービスの拡充	<ul style="list-style-type: none"> ★障害者週間のイベント（宮地楽器ホールにて開催）にてハンディキャップサービスの周知 と関連本の展示 ●点訳・音訳資料の作成（12点） ●対面朗読の提供（7回） ●デージー図書の貸出（34点） ●宅配サービス利用の貸出（65件168点）

凡例1 ☆=新規重点取組事業 ★=継続重点取組事業 ○=新規事業 ●=継続事業

凡例2 「本」=本館 「東」=東分室 「緑」=緑分室 「北」=貫井北分室 「西」=西之台会館図書室

基本方針 2 に対する成果の分析・一次評価【Check】

A

- A：基本方針に対しての成果があった。
- B：基本方針に対しての成果は一部分であった。
- C：基本方針に対しての成果を出すためには、課題がある。

・図書の個人貸出冊数は、令和 5 年度は 8 7 9, 7 8 4 冊で前年度から約 5 万 3 千冊減少した。大きな要因として、新型コロナウイルス感染症の分類が令和 5 年 5 月より 2 類から 5 類へと移行し、行動制限がなくなったことが考えられる。

一方で、図書館利用の促進や読書の楽しみを広げる講演会や読書会の開催回数と参加者は、令和 4 年度 6 4 回/6 5 4 人に対し、令和 5 年度は 7 5 回/9 5 6 人であった（乳幼児イベント、おはなし会、職場体験、点訳講習会、各サポーターのみの対象イベント除く）。特に公民館との複合施設内にある分室では、公民館との協働講座を行い、イベント対象者も子どもを対象としたイベントだけでなく、YA（中高生）世代、一般（大学生以上）、全年齢に向けて幅広く企画した。新型コロナウイルス感染症による行動制限解除の影響が大きく、イベント回数と参加者は増加したものの貸出数の増加には結びつかなかった。

・乳幼児と保護者向けのおはなし会「ととけっこうのおへや」（6 回／8 5 人）を、さらに気軽に利用してもらうため、「ととけっこうのおへや」より 5 分短く、事前申込なしで参加できる「ととけっこうのおへやmini」（4 回／3 3 人）を試行した。

・実施期間を 1 ヶ月以上に設定したイベントも実施した。貫井北分室では、夏休み期間（7 月 1 9 日～8 月 3 1 日）に「ヤンざる探偵をお手伝い〇〇の本を探せ」と題し、テーマ別（山、猿、飛行機など）に合った本を館内で探して楽しむイベントを実施し、期間中 118 人の参加を得た。

・小学生には、学級文庫への団体貸出パックを追加し、読書習慣維持に向けた支援を行った。電子図書館の学校連携について関係各課と協議し、検討した。現状に照らし合わせ、中学校への導入を推進することは可能と判断した。

・令和 6 年度は、「小金井市立図書館設置条例」にもとづき、図書館が小金井第一小学校の一部で開館（昭和 3 9 年）してから 6 0 周年となる。その記念として、多方面より図書館に関係する記録写真を資料として収集した。

・宅配の利用者は、令和 5 年は 6 5 件/1 6 8 点で前年度に比べ 2 0 件/1 8 2 点の減少となっている。障害者週間に合わせて出張展示を行ったが、出張（アウトリーチ）による周知だけでなく、外出が困難な潜在的図書館利用者の掘り起こしが今後の課題と考える。

次年度以降の実施・改善事項【Action】

・読書の楽しみや、資料との出会いを増やすためのイベントやテーマ展示を継続したい。特に複合施設であれば公民館との協働事業等を次年度も協働して行いたい。

・電子図書館を市立中学校に導入したい。

・図書館本館 6 0 周年行事を行いたい。

・ハンディキャップサービスをアウトリーチによる周知とともに、宅配等他市の事例を研究したい。

図書館協議会による意見【基本方針 2 について】

基本方針 2 について

・「読書の楽しみと喜びを広げる図書館」に関しては、小学校向けの学級文庫団体貸出パックが全校全クラス分には不足している為、申し込みが遅れるとパックの利用ができず、利用できなかったクラスは自クラスで対応しなければならず、苦勞している。ぜひ早急に全校全クラス分の充足を図っていただきたい。

小学校1年生対象の訪問活動の際、全員に(もしくは希望者を募り)、図書バッグの配布をお願いしたい。同様に利用カードの作成を促し、できれば作成してしまっただけではいかだろうか。

中学校の電子図書の進捗を公開し、学校だけでなく、学校図書館との連携について立てた考察を伺いたい。

郷土資料の「館内利用のみ」から一般貸出を行って欲しい。

「とけっこのおへやmini」試行は、実施には苦勞もあるだろうが、乳幼児保護者の参加意欲を促し、大変喜ばれる取り組みだと思われる。

「ヤンざる探偵…」イベントは素晴らしい企画であると感じるが、もっと周知する方法があると良いと思われる。

【岡田委員】

・「★ハンディキャップ・サービスの周知のため、広報活動の拡充を検討します。」この部分に関する取り組みとして

「★障害者週間のイベント（宮地楽器ホールにて開催）にてハンディキャップサービスの周知と関連本の展示」とあるが、昨年度資料と同様であり、結果、拡充していないので、新規の部分を是非生み出して欲しい。

【北澤委員】

・イベント開催における公民館との協働講座など、公民館活動との連携は評価できるので、是非さらに拡充して欲しい。

全世代（特に現役就労世代）の利用促進のため、(1)一般向けイベントの拡充、(2)公民館活動との連携、(3)イベントの周知・広報活動の充実などにさらに注力して欲しい。

【白井委員】

基本方針 3 地域に役立ち、地域とともに歩む図書館

内容

図書館は、市内で活躍する人・組織・団体等と協力・連携することで、地域と支えあいながら、地域に役立つ図書館を目指します。

取組目標【Plan】

施策3-1 地域との協力・連携

3-1-1

地域活性化のため、行政機関や、地域で活動する団体・機関と協力・連携します

令和5年度 取組目標【Plan】

- ★関係団体と連携したテーマ展示を行います。
- 地域で活動する団体や大学等との協力、連携により、地域の読書活動等の拡充が期待できる取組を検討します。

施策3-2 市民との協働

3-2-1

図書館サポーターとともに図書館事業を進めます

令和5年度 取組目標【Plan】

- おはなし会サポーターとともに、おはなし会を行います。
- ★おはなし会・点訳・音訳サポーター（ボランティア）の育成を行います。
- 図書館登録団体へ活動の場等の提供を行います。

3-2-2

図書館登録団体の活動を支援します

施策3-3 市民とともに図書館を考える

3-3-1

図書館サービス・事業の充実に向けて、市民と意見交換を行います

令和5年度 取組目標【Plan】

- 図書館座談会等の機会を通じて、意見交換を行います。

凡例 ☆ = 新規重点取組事業 ★ = 継続重点取組事業 ○ = 新規事業 ● = 継続事業

主な事業の結果【Do】	
施策3-1 期待される成果：地域の団体等の図書館利用が増える、市民が資料に触れる機会が増える	
3-1-1 地域活動団体・機関等との協働での地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> ★市役所関連各課等との連携によるテーマ展示の実施（本12回、緑26回、北2回西1回） 連携によるテーマ展示のうち、宮地楽器ホールとのテーマ展示の実施（本7回） ★児童及びYAでのテーマ展示のうち、職場体験等で選書した展示（本1回、緑4回） ●図書館見学・まち探検受入れ（全館で受入れ、8回） ●イベント主催者育成（北、子ども哲学イベント） ●メディアを活用した図書館の魅力発信（北、小金井市観光まちおこし協会、3回） ●地域書店との連携（北、チラシ配布） ●地域商店との連携（北、チラシ配布、「恋活読書会」参加者へのコーヒー券配布） ●包括協定先の総合学院テクノスカレッジの学生に電子図書館専用利用番号を付与 ●学校図書館関係者向け（本「本の修理講習会」、北「飯能高校図書館のとりくみ」） ●障害者福祉センター通所者の配架作業受入れ（緑） ●障害者就労支援センター実習生受入れ（緑） ●保育施設等へリサイクル図書配布（本1,721冊） ●職場体験等受入れ（大学生）（本、北） ●大学図書館との連携（東京農工大学図書館利用154件、東京経済大学図書館利用118件、その他紹介状3件） ○東京学芸大学、宮地楽器ホールとの協働事業（ひらくひらくひらく）（本）
施策3-2 期待される成果：図書館で活動・活躍する市民が増える	
3-2-1 図書館サポーターとの図書館事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●おはなし会サポーターによるおはなし会実施（本5回、東6回、緑11回、北35回） ★おはなし会サポーター育成講座の実施（本1回18人、北1回47人） ○音訳サークルによる本館内アナウンス録音登録 ●点訳サポーターによる点字資料の作成（4点） ●音訳サポーターによるデージー図書の作成（8点） ●音訳サポーターによる対面朗読の実施（7回） ★点訳講習会の実施（本10回1シリーズ）
3-2-2 図書館登録への活動の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館登録団体による本館集会室・別館利用（167回）
施策3-3 期待される成果：市民のニーズに合ったサービスが提供される	
3-3-1 図書館サービス等に関する市民との意見交換	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館座談会の一環でバックヤードツアーを実施（本2回8人） ●おはなし会サポーターとの意見交換会の実施 ●音訳・点訳サポーターとの意見交換会の実施

凡例1 ☆＝新規重点取組事業 ★＝継続重点取組事業 ○＝新規事業 ●＝継続事業

凡例2 「本」＝本館 「東」＝東分室 「緑」＝緑分室 「北」＝貫井北分室 「西」＝西之台会館図書室

基本方針 3 に対する成果の分析・一次評価【Check】

A

- A：基本方針に対しての成果があった。
- B：基本方針に対しての成果は一部分であった。
- C：基本方針に対しての成果を出すためには、課題がある。

- ・駅前施設である「小金井 宮地楽器ホール」が実施する「映画音楽」、「江戸糸あやつり人形」、「能」等のイベントと連携し、関連資料の出張展示を行った。各イベントの合間に、本を手にとった参加者から「こんな本もあるのか」との声も聴けた。出張展示により図書館利用への興味を持ってもらえたと思われる。
- ・東京学芸大学、宮地楽器ホールとの連携事業「ひらくひらくひらく」に参加した。図書館は、学芸大学生・学芸大学図書館員・市立図書館員によるおすすめ本の展示と、出張おはなし会を実施した。駅前ロータリーに面したスペースでのおはなし会は、大型絵本も活用したことにより目を引いた。
- ・職場体験を受け入れた際には、学生の「おすすめ本」展示を行ったり、公民館との複合館では講座に関する展示を行った。特に緑分室は公民館の講座に関連する展示に力を入れた。
- ・貫井北分室で行うイベントの周知は、「小金井市観光まちおこし協会」の発信動画や、近くの商店へチラシ配布等、地域の団体からの協力も得られている。
- ・大学図書館利用については、新型コロナウイルス感染症の分類が令和 5 年 5 月から 2 類から 5 類へと移行したことで、一般利用が再開されたことにより、大学図書館利用カードの利用が増えた。
- ・点訳講習会の講習完了者 7 人のうち、2 人が図書館で活動するボランティア団体へ加入し、図書館サポーター（図書館サービスを手伝っていただくボランティア）として活躍する方が増えた。
- ・貫井北分室で行った「おはなし会サポーター向けの講座」は一般の方も広く参加募集を行い絵本の魅力を伝えた。
- ・図書館座談会は、図書館をよく知ってもらって意見交換をはかるため、「図書館バックヤードツアー」とともに実施してきた。しかし、参加者 0 人の回もあったため、図書館講演会終了後に希望者を募り、バックヤードツアーと意見交換を行った。参加者からは、主に利用方法の質問が寄せられた。

次年度以降の実施・改善事項【Action】

- ・本館、各分室ともに地域の団体等との繋がりを維持し、連携事業やテーマ展示を継続していきたい。特に、職場体験で学生を受け入れた際には、「おすすめ本」の展示を通して学生が図書館をより身近に感じてもらう一助としたい。
- ・音訳・点訳サポーターの育成を進め、サポーターの協力を得ながら、各資料作成等の事業を継続していきたい。
- ・おはなし会サポーター育成講座は引き続きサポーター向け、一般向けなど柔軟にテーマを設定して継続していきたい。
- ・図書館座談会等の意見交換の場のあり方について研究を行いたい。

図書館協議会による意見【基本方針 3 について】

基本方針 3 について

・「地域に役立ち、地域とともに歩む図書館」に関して、基本方針 2 にも掲げられていたが、宮地楽器ホールとのタイアップ企画の出張展示は大変面白く有意義であるが、一般市民に広く周知されておらず残念である。

バックヤードツアーは「開かれた図書館」には非常に有効と思われる。もっと周知公開すべきである。

【岡田委員】

・図書館外イベントの開催にともなって宮地楽器ホールなどに出張展示するなど、図書館の施設内にとどまらない活動は評価できる。

公民館講座の関連展示などは良い取り組みと評価できる。講座講師と十分に会話し、参考文献・図書などを聞き出して紹介・展示を行うと良いと思われる。

公民館活動の連携は公民館併設図書館に限られているようだが、公民館講座に限らず市が主催する講座・セミナーは市域全体で催されており、市図書館全体としてこうした市民学習機会との連携に取り組むべきと考える。

【白井委員】

・「恋活読書会」について不安を感じる。本好きな友人を増やす出会いの場を提供することはよいことだと思うが、進め方として最後にマッチングシートに記入して発表するとホームページで拝見した。それにより、さまざまなトラブルが生じないか、傷つく人はいないのかと心配を感じる。交流するのは良いことだが、わずかの時間で結果を出し、その後どうなっていくのか…。慎重に取り組むべきだと感じる。

【関本委員】

基本方針 4 知る権利、学ぶ権利を守る図書館

内容

図書館は、資料と情報を収集・整理・保存・提供することで、文化を後世に伝えるとともに、市民の調べる・知る・学ぶ機会を提供します。

取組目標【Plan】

施策4-1 資料の収集、整理、保存、提供の充実

令和5年度 取組目標【Plan】	
4-1-1 幅広い分野において、魅力ある資料の充実を図ります	★小金井関連の資料を電子化し、電子書籍の充実を進めていきます。 ●「こがねい電子図書館」の周知を行います。
4-1-2 電子書籍の充実を図ります	

施策4-2 市民の「調べる」「知る」「学ぶ」を支える

令和5年度 取組目標【Plan】	
4-2-1 「調べる」「知る」「学ぶ」ための資料・情報の充実を図ります	● 調査研究のための資料、情報を収集・保存・整理し提供します。 ● 図書館業務の質の向上、レファレンス機能の向上を目的とした研修に参加します。 ○ 図書館ホームページに調べものリンク集等を整備します。
4-2-2 「調べる」支援の充実を図ります	
4-2-3 図書館スタッフの専門性を高めます	

施策4-3 小金井の文化・歴史の継承、発信

令和5年度 取組目標【Plan】	
4-3-1 わかりやすい地域学習に役立つ資料の作成を行います	★地域学習シートを作成・発行を行います。 ● 地域資料、行政資料を収集、保存を行います。 ● 地域資料のテーマ展示を行います。
4-3-2 小金井に関する地域資料・行政資料を充実し、利用者へ提供します	

凡例 ☆ = 新規重点取組事業 ★ = 継続重点取組事業 ○ = 新規事業 ● = 継続事業

主な事業の結果【Do】	
施策4-1 期待される成果：図書館が提供する資料に魅力を感じる市民が増える	
4-1-1 魅力ある資料の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●マンガ資料収集の検討 ●資料の購入・受入れ（21,235点） ●相互貸借による資料提供の実施
4-1-2 電子書籍の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●こがねい電子図書館の利用案内の英語版・中国語版の各分室へ配布 ●こがねい電子図書館のチラシを市役所庁舎と関連施設に配布 ●電子書籍資料の貸出（9,525点） ★「こがねい電子図書館」に生涯学習課文化財係の協力のもと、地域資料の電子化（3点）
施策4-2 期待される成果：図書館で調べる、知る、学ぶ市民が増える	
4-2-1 調べる・知る・学ぶための資料・情報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●参考資料の受け入れ（全館29,545点） ●利用者用インターネット端末の提供（本61回、北45回）
4-2-2 レファレンス・サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ●国立国会図書館デジタル化資料送信サービス、歴史的音源サービスの案内 ●図書館だよりで参考資料紹介（1回） ○調べもののリンク集 国会図書館リサーチナビ等 15件追加
4-2-3 図書館スタッフの専門性向上	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館業務の質の向上を目的として都立図書館等主催の研修に参加 ●生涯学習課文化財係との研修会実施 ○認知症に対する理解促進研修の実施（東、北） ○国立国会図書館職員を講師に招いたオンライン研修の実施
施策4-3 期待される成果：小金井の文化・歴史に対する市民の関心が高まる	
4-3-1 地域学習に役立つ資料の充実	<ul style="list-style-type: none"> ★地域学習シート「小金井わくわくたんていだん」の発行（1回）
4-3-2 小金井に関する地域資料・行政資料の充実	<ul style="list-style-type: none"> ★「こがねい電子図書館」に生涯学習課文化財係の協力のもと、地域資料の電子化（3点） ●地域資料・行政資料の収集 ●定点撮影の実施 ●小金井に関する新聞記事の収集、ファイリング ●市民文庫の充実（北） ●地域資料のテーマ展示（北4回）

凡例1 ☆ = 新規重点取組事業 ★ = 継続重点取組事業 ○ = 新規事業 ● = 継続事業

凡例2 「本」= 本館 「東」= 東分室 「緑」= 緑分室 「北」= 貫井北分室 「西」= 西之台会館図書館

基本方針 4 に対する成果の分析・一次評価【Check】

A

- A：基本方針に対しての成果があった。
- B：基本方針に対しての成果は一部分であった。
- C：基本方針に対しての成果を出すためには、課題がある。

・選書基準で「マンガ」は「マンガでしか味わえない必然性があること。」「内容と程度が、子どもの発達にふさわしいものであること。」と、されている。選書会議を経て緑分室と貫井北分室には、主に閲覧用の「コミックマンガ」が所蔵されている。マンガは「コミックマンガ」、「学習マンガ」、「コミックエッセイ」等幅が広い。マンガのリクエストは一定数寄せられていることから、「選書基準の適宜見直し」の一環として、他市の「マンガ受入れ基準」を研究し、収集方針の内規を改定した。

・利用者インターネット端末の利用が落ちこんだ。理由として、国立国会図書館デジタルコレクションの個人利用が拡充されたことと、Wi-Fi環境が整備されて多くの方が利用したことが要因と考えられる。

・図書館ホームページに、調べものリンク集を15件追加し整備を行った。リンク集について別途、使い方や整備したことへの周知も必要と思われる。

・図書館スタッフの能力向上のため、令和5年度は国立国会図書館とオンラインで結び、同館職員を講師とした「国立国会図書館を使いこなす」と題した講習を実施した。また、委託館である東分室、貫井北分室では「認知症に対する理解促進研修」を実施した。

・地域資料の電子化は生涯学習課文化財係の協力により、小金井市史等版の古い資料から順次進めた。

次年度以降の実施・改善事項【Action】

・「小金井市立図書館選書基準」の除籍期限や、資料の外部保管等、他市の状況を研究し、見直したい。

・電子図書館を市立中学校に導入したい。

・調べものリンク集の周知は、「こがねい電子図書館」の利用促進も含めて周知を研究していきたい。

・地域学習支援シートの作成、発行を継続していきたい。

・図書館業務の質の向上を目的とした研修、先進市の図書館見学を実施したい。

・地域資料の電子化は、引き続き関係課との協議を進めるとともに、他先進市の状況も研究していきたい。

図書館協議会による意見【基本方針 4 について】

基本方針 4 について

・「知る権利、学ぶ権利を守る図書館」に関して、郷土資料の「こがねい電子図書館」、地域学習シート等に期待している。マンガに関して、設置するなら中途半端ではなく、もっと本気で収集して蔵書構築して欲しい。

また、蔵書点検ではどの程度不明本が出ているのだろうか？他市と比較したり、利用者数に対しての不明数の割合など知りたい。時代遅れなのかもしれないが、ICタグの導入などで、公共物利用への関心を高めるべきではないだろうか？

【岡田委員】

・小金井市市史など地域資料の整備は評価できる。一方、小金井市の市史や文化財資料は市民にまだ十分には周知されていないと思われる。市の文化財センターは文献のみならず実物史料も豊富で価値ある場所なのだが、市民でこの存在を知っている人はごく少ない。市文化財係と連携して史料の整備や市民への広報を進めていただきたい。

【白井委員】

・先進的な市の図書館見学ができよかったですと思われるが、それが小金井市の新しい図書館建設に繋がることを切に願う。

【関本委員】

図書館協議会による意見【全体について】

全体について

・首都圏の図書館は、1970年代後半から80年代にかけて、住民の本の貸出要求が津波のように押し寄せて、どこも貸出・返却カウンターを維持するので手一杯の状況で、猫の手も借りたいという状況であった。

そのため、レファレンスも児童サービス等もストップして貸出・返却の対応を行い、やっと落ち着いたと思ったら、今度はコンピュータ化で人を減らされ、少ない人数がさらに少なくなってそのまま今にいたっているのが実情であった。少ない人数でよくやっている。

また、登録者などが減っているのは、コロナもあって、今後数年の経過を見ていかないと評価はできないと思われる。

【大串委員】

・市民に開かれた図書館であり、「人と地域のためのいちばんみぢかな『知の拠点』」を目指すために、既存の立地・建物・状態を活かした改善を図り実施してきたが、限界を感じる部分も大きいのではないかと。

しかしサービス面では、利用者として感じるのは、現状、不足している部分もあるが、ニーズに応える形で対応できていると思われる。利用する私たちの、利用者としての自覚や成長も必要であると思うので、バラエティに富んだ講座やイベントを更に工夫、充実させて欲しい。

今回、改めて基本計画と取り組み内容を見直したが、協議会委員としてもっと実施事業に参加しなければ意見できないと感じる。

委員には事業日程表を配布し、参加要請や手軽な聴講許可など、もっと積極的に参加を促進する必要があるのではないかと。

【岡田委員】

・コロナ禍の終焉と裏腹に図書館利用者が減少傾向にあるのは残念なことである。市民の足を図書館に再び向かわせるためのさらなる努力に期待したい。都による図書館利用調査結果を眺めていて、市民有効登録者の市民割合が高い（25%前後）自治体と低い（10数%）自治体に二極化しているように読み取れる。ちなみに小金井市は15%で低い方。高い自治体は武蔵野市、稲城市など。この違いは何に起因するのか気になるところである。

【白井委員】

参考指標（3年間）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市民登録者数	34,130人	33,493人	32,498人
市民登録率 (市民登録者数÷1/1現在人口)	27.39%	26.85%	26.08%
来館者数（貸出者数）	251,765人	243,735人	232,888人
個人総貸出点数	993,051点	933,556点	879,784点
児童書貸出点数	445,971点	414,134点	411,834点
蔵書数	505,435点	504,166点	497,823点
蔵書回転率 (貸出点数÷蔵書数)	196.47%	185.17%	176.73%
予約件数	260,136件	243,659件	242,465件
電子図書館利用者数 (貸出者数)	1,237人	1,236人	1,226人
電子書籍の貸出点数	10,399点	10,525点	9,525点
レファレンスサービス件数	8,218件	6,813件	7,070件
ハンディキャップ・サービス 貸出冊数（宅配+デジジ-等貸出）	412点	386点	202点
図書館おはなし会サポーター 団体数	15団体	15団体	16団体
図書館登録団体数	7団体	7団体	7団体
図書館と連携事業（展示）を 行った機関数	5団体	7団体	5団体

「小金井市の図書館（令和5年度版）」より一部抜粋
「東京都公立図書館調査結果」とは一部集計方法が異なるため、数値が異なる。

【参考資料】 令和6年度 東京都公立図書館調査結果より抜粋(数字は令和5年度実績)

自治体名	人口	蔵書数図書総数(冊)		個人貸出登録者登録者総数(人)		個人貸出登録者有効登録者数(人)内訳うち自治体内有効登録者		個人貸出貸出冊数貸出総数(冊)		個人貸出貸出冊数貸出総数(冊)内訳うち自治体内貸出数		予約受付総数(冊)	
		市民一人当たり(冊)				市民割合				市民一人当たり(冊)			市民一人当たり(冊)
八王子市	559,526	1,639,529	2.93	112,933	47,413	8.47%		2,123,130	2,040,936	3.65		749,174	1.34
立川市	185,737	928,100	5.00	54,447	25,915	-		1,388,450	1,180,590	-		388,582	2.09
武蔵野市	148,079	980,571	6.62	213,240	38,309	25.87%		2,278,994	不明	-		630,235	4.26
三鷹市	190,309	823,445	4.33	94,806	36,648	19.26%		1,848,957	1,623,967	8.53		416,101	2.19
青梅市	129,178	611,699	4.74	44,249	0	-		731,125	0	-		30,231	0.23
府中市	259,941	1,566,614	6.03	130,211	不明	-		1,774,996	不明	-		590,249	2.27
昭島市	114,578	500,316	4.37	47,159	不明	-		729,008	670,887	5.86		154,606	1.35
調布市	239,247	1,335,291	5.58	73,926	不明	#VALUE!		2,301,797	不明	-		682,664	2.85
町田市	430,558	1,173,902	2.73	482,746	74,276	17.25%		3,004,640	2,710,102	6.29		667,304	1.55
小金井市	124,677	497,823	3.99	35,782	18,622	14.94%		879,784	877,771	7.04		241,913	1.94
小平市	196,388	1,173,246	5.97	156,607	30,081	15.32%		1,365,201	1,266,835	6.45		366,009	1.86
日野市	187,617	803,496	4.28	31,230	29,070	15.49%		1,430,749	不明	-		527,782	2.81
東村山市	151,494	725,493	4.79	未取得	21,182	13.98%		978,227	892,440	5.89		244,222	1.61
国分寺市	129,007	595,370	4.62	47,829	17,603	13.64%		798,247	774,824	6.01		207,300	1.61
国立市	75,816	355,851	4.69	23,558	10,989	14.49%		399,953	371,744	4.90		90,290	1.19
福生市	56,375	464,118	8.23	7,701	5,208	9.24%		372,922	不明	-		45,997	0.82
狛江市	81,940	303,050	3.70	22,858	11,453	13.98%		483,678	442,072	5.40		140,653	1.72
東大和市	84,995	468,566	5.51	27,613	不明	-		573,420	不明	-		104,792	1.23
清瀬市	74,763	377,317	5.05	94,814	9,995	13.37%		471,619	352,925	4.72		142,719	1.91
東久留米市	116,445	500,481	4.30	18,152	13,906	11.94%		732,895	不明	-		187,875	1.61
武蔵村山市	70,861	320,297	4.52	43,346	12,544	17.70%		255,574	230,869	3.26		58,193	0.82
多摩市	147,751	799,651	5.41	53,833	29,146	19.73%		1,607,207	1,394,029	9.43		491,144	3.32
稲城市	93,823	683,082	7.28	32,100	21,996	23.44%		1,065,563	736,405	7.85		245,973	2.62
羽村市	54,162	416,499	7.69	21,201	5,478	10.11%		257,170	214,234	3.96		28,331	0.52
あきる野市	79,448	649,580	8.18	17,025	13,876	17.47%		540,216	434,825	5.47		99,364	1.25
西東京市	205,737	781,891	3.80	71,363	30,443	14.80%		1,912,675	1,577,972	7.67		738,813	3.59

「個人貸出登録者数」年間の累計登録者数ではなく、評価対象年度末日現在の登録者数。なお、視聴覚資料の登録者は含むが、障害者サービスの登録者及び電子書籍サービスのみの登録者は含まない。
「個人貸出登録者有効登録者数」調査対象年度内に図書館を利用した登録者数。